

進路だより

第4号
令和6年2月16日
進路指導課

第4号は、令和2～4年度卒業生のアフターケアの集計を報告します。

【アフターケアとは】

卒業後の進路先や家庭での状況を把握することで、必要に応じて支援にあたりると共に、在校生の進路指導の参考にする目的で、過去3年間の卒業生に聞き取り調査を行っています。

- (1) 回答率 28人/36人 77.8%
R2年度卒業生 9人/13人 69.2%
R3年度卒業生 6人/10人 60%
R4年度卒業生 13人/13人 **100%**



(2) 現在の進路先

進学	1	A型	1	生活介護	11
予備校	1	B型	3	施設入所	3
就労移行	2	自立訓練	1	自宅	5

*内、施設併用 7人(生活介護)

合計 28人

(3) 進路先以外で利用しているサービス 複数回答

通院(定期通院等) … 22人

通院(リハビリ) … 15人

日中一時 … 6人

ショートステイ … 6人

居宅介護 … 6人

訪問看護 … 3人

利用なし … 1人

その他 … 訪問リハ:2人 入浴サービス:2人 移動支援:2人 訪問診療:1人



(4) 現在の生活の満足度 5:満足 → 1:不満

5 … 13人 (落ち着いて通っている、楽しそう、楽しい、自分に合っている、新しいことに出会えた等)

4 … 11人 (自分に合っている、安全に過ごせている、支援に満足している、自分のやりたいことができる等)

3 … 3人 (楽しく通っている、時間の制限がある、生活リズムを整えている途中)

2 … 1人 (家での生活が苦しい、進路先での生活は落ち着いてきた)

1 … 0人

(5) 余暇の過ごし方 複数回答

家でのおんびり過ごす … 7人

TV、PC、タブレット端末でYouTube 動画、映画鑑賞 … 5人

ドライブ、外出、散歩 … 10人

買い物 … 4人

リハビリ、訓練 … 3人

サークル活動 … 3人

その他 … 受験勉強、イベント参加、ピアノ練習、日中一時利用、短期入所等



(6) 在校生へのアドバイス

- ・**在校中からできるだけ広くつながりを持っておく**と卒業後もいろいろな情報が入ってきやすい。
- ・いろいろな施設や事業所に行き、体験をすることで自分に合った進路先が見つかる。
- ・**小学部の早い段階から施設見学をしておいた方がよい。**
- ・小学部のうちから施設利用を頻繁にして「馴染みの施設」を作っておくとよい。
- ・本人、親が納得した施設を選ぶこと。卒業後の目標をあまり高く持ちすぎないこと。
- ・風邪などをひかない**体力づくり**。
- ・**人に伝える力**は大事。
- ・働けるうちに働く。介助者がいるうちに好きなことをする。
- ・始めは仕事に慣れず失敗をしてしまうこともあるが、**焦らずゆっくり自信をもって自分のペースで作業をしていけばいい**と思う。
- ・**外の世界には多くの出会い、ヒントがたくさんあります。自分達で考え、悩み、そして勇気を出して行動してみる**ことがこの先、自分らしい生活の近道になるのではないかと感じます。その自分らしさを在学中に学校の先生方と一緒に探して行けたら最高です！**学校生活、楽しんでください！**

(7) 現在気になること、心配なこと】

- ・障害に伴う**二次障害**(側弯の進行など)
- ・家での**自傷行為**が悪化している
- ・**運動不足**
- ・引っ越しをして不安定
- ・家庭内の問題 家族関係
- ・**将来のこと**(移行支援事業所との契約後について)
- ・衛生面、**生活リズム**
- ・異性問題
- ・**親亡き後問題**
- ・重度訪問介護をお願いできる事業所がない

